

国策紙芝居研究 の可能性を拓く

—『国策紙芝居からみる日本の戦争Ⅱ』合評会—

戦時期に制作された、いわゆる「国策紙芝居」。本書は、2018年刊行の『国策紙芝居からみる日本の戦争』には未収録であった、国内外に残る国策紙芝居287点を、あらすじとともにフルカラーで紹介しています。さらに、紙芝居にかかわった人びとの経験や思想、植民地・戦場・銃後において紙芝居がどのように使われたのかを考察する論考を収録しています。

当日は4名の評者によるコメントを起点に、参加者のみなさまと多様な「読み」を共有しながら、国策紙芝居と戦争について議論を広げます。ぜひご参加ください。



書誌情報

神奈川大学非文字資料研究センター「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班 編著

出版社: 勉誠社

刊行年月: 2026年3月

評者

田口 麻奈 氏 (日本近代・現代文学)

鳥羽 耕史 氏 (日本文学)

飛矢崎 貴規 氏 (日本思想史)

森岡 伸枝 氏 (日本近代教育史)

リプライ

神奈川大学非文字資料研究センター
「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班



掲載した紙芝居の画像は、すべて神奈川大学非文字資料研究センター所蔵の資料です。

開催日時

2026年11月29日(日) 13時~17時
受付は12時30分開始

参加方法

- 定員 80名
- 参加無料
- 事前申込制

会場

横浜市開港記念会館 1階 1号室
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1丁目6
JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分(約700m)
みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分(約50m)

参加申込

下記のGoogleフォームもしくは、QRコードよりお申込みください。
締切11月25日です。

<https://forms.gle/RavxPJPRX3q4ZAsJ9>

